

# 従業員環境教育・啓発

製造拠点から営業/ソフト・サービス部門まで、  
従業員一人ひとりが“ 主役 ”の環境活動を促進します。

## 方針

一人ひとりの環境保全に対する意識を高め、実行をうながすため、製造部門のみならず、営業部門、ソフト・サービス部門まで、すべての従業員を対象としたさまざまな環境教育・啓発活動を推進していきます。

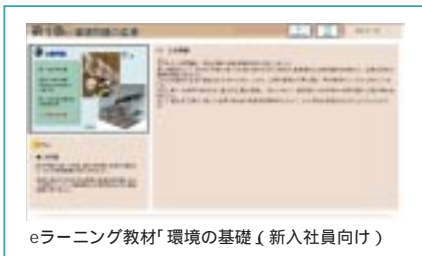
## 成果

### 環境教育

#### リテラシー教育

全部門に共通の教育です。各階層に応じ、環境問題についてベースラインとなる知識を身につけます。座学教育およびeラーニング教材を用いた融合教育を実施していきます。

- 2002年度から新入社員向け環境eラーニングを開始し、2003年度は741名のグループ従業員が受講しました



eラーニング教材「環境の基礎（新入社員向け）」

- 2003年に開発した環境ソリューション製品を、独自のアレンジを加えて7級職（幹部社員）への教育に利用しています。富士通グループで2003年度は784名が受講しました。



環境ソリューション製品

#### 技術教育

専門領域に応じた技術的・専門的な教育です。調達、設計、開発、環境管理、内部監査委員<sup>1</sup>、生産<sup>2</sup>の各部門の職域に応じて、環境に配慮した業務を行うための教育を実施していきます。

1 P.21「環境マネジメントシステム」参照  
2 P.56「環境リスク対策」参照

#### 営業部門、ソフト・サービス部門への環境教育

社内外の講師による環境教育を積極的に実施しています。2003年は、新たな試みとして「ITと環境」をテーマとしたソフト・サービス部門への講演会を実施。NTT様に講師を依頼し、人や物の移動を最小限に抑え、無駄なエネルギーや資源の消費を抑制する、情報流通技術の環境問題への適用についてご講演いただきました。

##### 【環境講演会実施実績】

営業部門（大阪地区）	87名参加
ソフト・サービス部門	44名参加
東海支社	71名参加
九州支社	28名参加
本社地区	93名参加



本社地区



営業部門（大阪地区）

#### グループ会社での取り組み

##### 富士通中国システムズ

産業廃棄物管理教育のほか、「エコドライブ推進」を導入。2003年度には営業車輛の管理として非専任運転手へ教育を拡大し、実務にそった教育を実施しています。

##### 富士通研究所

新たな取り組みとして、富士通グループ会社に対し先進的な環境技術の展示およびパネル形式によるテーマごとの説明・意見交換を実施していく「環境キャラバン」を、富士通環境本部およびテクノロジセンターと共同で開始しました。2003年度は、鉛フリーはんだ・植物性樹脂・LCA評価技術などについて、新光電気工業・FDK・富士通テン他、計4社で開催されました。



FDKでの「環境キャラバン」の模様



富士通テンでの「環境キャラバン」の模様

#### 海外拠点での取り組み

##### FUJITSU HONGKONG LIMITED

2003年10月、従業員とその家族を対象に、香港郊外の島である平洲（Ping Chau）へのエコツアーを実施しました。当日は好天に恵まれ、地域のNGOの講師により香港のダイナミックな風景、海の生物、生態系、岩の風化作用と浸食、水の循環、人間や他の要因による環境問題に関する説明を受けました。参加した50名は美しい香港の自然を満喫するとともに、環境保全の意識を新た

にしました。この取り組みは2004年度以降も実施していく予定です。



講師の説明後に海岸を探索する参加者

## 環境啓発

### 環境貢献賞/コンテスト

グループ各社の従業員の環境意識を向上し、環境活動を推進するために、「環境貢献賞」および「環境コンテスト（フォト部門/ボランティア部門）」を継続して開催しています。2002年度から、環境貢献大賞が社長から表彰される「中央表彰」に位置づけられ、6月の創立記念式典で表彰されています。2003年度は貢献賞81件、フォト・コンテスト77件、ボランティア・コンテスト3件の応募がありました。

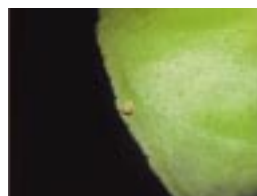
#### 【主な受賞テーマ】

##### 環境貢献賞大賞

- ・環境マネジメントシステムの富士通全事業領域への適用
- ・グリーン・プロセス活動
- ・ライフサイクル・アセスメント(LCA)に基づくエコリーフ環境ラベルの製品への適用
- ・環境貢献ソリューション認定制度の構築

##### 環境ボランティア・コンテスト最優秀賞

- ・緑地保全の市民団体での記録/広報活動
- ・自然観察会/環境関連講座の企画・運営



環境フォト・コンテスト最優秀賞  
「めーけ、アゲハの赤ちゃん」

### FUJITSU Eco Club

従業員の個人的な環境ボランティア活動を支援するイントラネット情報交換の場として、「FUJITSU Eco Club」の運営を継続しています。2003年度は環境意識の高い従業員

の意見をインタビュー形式で新しく掲載しました。一人ひとりが自発的に活動を始めるきっかけとなっています。

### 環境月間行事

環境省主唱の6月の環境月間に、社内および各グループ会社において各種の行事を実施しています。2003年度は体験型の啓発行事が特に人気を集めました。また、新たな試みとして落語・漫才などを利用したわかりやすい啓発行事も実施しました。今後は、全社の環境活動の統合化に向けて、営業/ソフト・サービスビジネスグループも含んだ啓発行事に取り組んでいきます。

#### 富士通川崎工場



リサイクル体験ツアー



環境落語

#### 【2003年度の実施例】

ヤゴ放流/コスモス植花・環境展示会・環境保全設備見学会・リサイクル体験ツアー・環境落語

#### 富士通南多摩工場

庭園内の芝生に季節の花である約280株の赤色の日々草を用いて「FUJITSU」のロゴを植花し、環境美化の意識を高めました。



南多摩工場の庭園の「FUJITSU」ロゴ

#### 環境講演会

##### 富士通ディスプレイテクノロジーズ

新たな環境啓発の取り組みとして、鳥取県自然解説員であり、<sup>ひなづ</sup>日吉津小学校教頭でいらっしゃる<sup>だいせん</sup>鷲見寛幸様を講師としてお招きし、「大山の自然環境について」と題して、工場のある大山山麓に生息する草花などについてご講演いただきました。約60名の参加者からは身近な自然が再認識できたとの感想が上がりました。



富士通ディスプレイテクノロジーズ講演会の模様

### 社内啓発のための情報受発信

#### 公共営業本部e-Japan営業統括部

(富士通)

企業の社会的責任(CSR)への取り組みの重要性を紹介するため、「自治体CSRマガジン」を2004年3月より発行しています。自治体担当営業向けに、メールマガジンとして、環境をテーマとした特集やグループ内の地域貢献活動などを掲載しています。



自治体CSRマガジン創刊号

#### FCV

(FUJITSU Computer Products of Vietnam)

2003年5月より隔週で、地球温暖化、大気/水質汚染、ゴミ問題などの記事を掲示板に貼り出し、環境意識を啓発しています。



大気汚染を紹介する記事(2003年5月)

#### 電子デバイス営業本部(富士通)

電子デバイスビジネスグループでは、環境配慮への取り組みを広く従業員へ紹介しています。特約店様および社内へ配布している冊子「Power Up!」2004年2月号では、環境への取り組みが特集され、欧州の化学物質規制やLSI製品への関心の高まりなど最近のトピックス、また鉛フリーパッケージへの切り替え促進などが掲載されました。



「Power Up!」2004年2月号